

第 47 回宇宙安全保障部会 議事要旨

1. 日時

令和 4 年 4 月 21 日（木） 14：00～16：00

2. 場所

中央合同庁舎 4 号館 1208 特別会議室

3. 出席者

(1) 委員

青木部会長、片岡部会長代理、石井満委員、石井由梨佳委員、遠藤委員、久保委員、白坂委員、新谷委員、鈴木委員、中須賀委員、名和委員

(2) 事務局

宇宙開発戦略推進事務局 河西局長、坂口審議官、藤重参事官

(3) 関係省庁

内閣官房国家安全保障局 徳永内閣審議官

内閣官房内閣情報衛星センター管理部総務課 高橋課長

外務省総合外交政策局 宇宙・海洋安全保障政策室 倭島室長

経済産業省製造産業局宇宙産業室 伊奈室長補佐

防衛省防衛政策局戦略企画課 田邊課長

4. 議事要旨 (○：委員からの質問・意見等 ●：事務局、関係省庁からの回答等)

- (1) 議題 (1) 「令和 3 年度机上演習 (TTX) 成果報告等」について、資料 1 に基づく内閣府からの説明の後、委員より以下のような意見があった。

○年を経るごとに演習内容が深化している。今後は東日本大震災レベルの災害により地上と宇宙の両方のシステムに障害が生じるケースのような、より困難なシナリオについても想定していくべきである。

- (2) 議題 (2) 「サイバーセキュリティ・ガイドラインについて」について、資料 2 に基づく経済産業省からの説明の後、次のような議論が行われた。

○海外から購入した人工衛星にも適用されるのか。

●サプライチェーン全体としてセキュリティを確保することが重要である。

(3) 議題(3)「昨今の情勢におけるサイバー事象の趨勢について」について、資料3に基づき名和委員からの説明の後、委員より以下のような意見があった。

○今回のロシアによるウクライナ侵攻事案において、サイバー攻撃が思ったよりも少なかったのではないかと。

(4) 議題(4)「軌道利用のルール作りに関する中長期的な取組方針」について、資料4に基づき内閣府からの説明の後、次のような議論が行われた。

○航空業界におけるICAOのような国際組織を作っていく動きはあるのか。

●まだそのような具体的な動きは見られない。

(5) 議題(5)「その他」において、内閣衛星情報センターより民間衛星の利用を含めた今後の方針・取組等について、防衛省より資料5-1～2に基づき、次期防衛衛星通信、コンステレーションを活用した通信に関する検討等についてそれぞれ説明を行った後、次のような議論が行われた。

○きらめき後継機についてもPFIで運用を委託するのか。

●まずは人工衛星自体のコンセプトについて検討する段階である。

以上